

松川智哉 Tomoya Matsukawa

幼少時代をマダガスカルで過ごし、フランス語学校で学ぶ。

洗足学園音楽大学音楽学部作曲コースを経て、東京藝術大学音楽学部指揮科卒業、同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程修了。大学の推薦により、野村学芸財団奨学生。

2021 年度山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて山田貞夫音楽賞ならびに特選を受賞、第三回新進指揮者コンサートにてセントラル愛知交響楽団を指揮。

2022 年度より、セントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクターに就任。

2019 年から 2021 年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、各種公演に指揮者アシスタントとして関わり研鑽を積む。

これまでに指揮を尾高忠明、高関健、Douglas Bostock、川本統脩の各氏に、作曲・音楽理論を久行敏彦氏にそれぞれ師事。

これまでに東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、芸大フィルハーモニア管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、富士山静岡交響楽団、セントラル愛知交響楽団、大阪交響楽団他を指揮。

現在、オーケストラ、吹奏楽、合唱の指揮者として幅広く活動する他、オペラの副指揮者として多数の公演に参加。佐渡裕プロデュースオペラ 2017 年「フィガロの結婚」、2018 年「魔弾の射手」、2019 年「On the town」、2021 年「メリーウィドウ」の各公演にて副指揮者を務めた他、びわ湖ホールプロデュースオペラにて、2019 年「ジークフリート」、2020 年「神々の黄昏」、2021 年「ローエン格林」、2022 年「パルジファル」、2017 年 10 月三枝成彰作曲「狂おしき真夏の一日」初演、2018 年 12 月長野県伊那文化会館開館 30 周年記念オペラ「愛の妙薬」、藤沢市民オペラ 2019 年「湖上の美人」、2022 年「ナブッコ」、2021 年東京シティフィル「R.ワーグナー『ニーベルングの指環』ハイライト特別演奏会～飯守泰次郎 傘寿記念～」、2022 年東京・春・音楽祭「ローエン格林」などの各公演にて副指揮者を務めた。